

# 牛乳への応援が、聞こえてくるようでした。

今年の春、牛乳は行き場を失いかけました。  
新型コロナウイルスの流行により学校給食がストップし、  
本来届けるべきところへ届けられなくなってしまったです。  
搾った乳を捨てるしかないのか？ 酪農家たちは頭を悩ませました。

その時、状況を救ってくれたのは、たくさんの「声」でした。  
SNS上に「牛乳を飲もう」「牛乳が好きだ」の声が広がり、  
多くの方が、店頭で牛乳を手にとってくれました。

「牛乳は家庭に必要とされているんだ」。  
宮崎県、黒木牧場の黒木さんは、そう感じることができたと言います。

今年あらためて気づかされた「一日、一日」の大切さ。  
だから、私たちも一日、一日ていねいに乳を搾り、牛乳を届けます。  
いただいた声援を、私たちからの応援としてお返しできるように。  
一杯の牛乳に、健やかで、元気な毎日への願いを込めて。



[ 酪農さんから届いた写真です ]

## 一日一日に感謝をこめて。九州の牛乳

